

# 施策評価(令和元年度)

## 1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	1	未来につなぐ環境都市の実現
施策	25	循環型社会
基本方針		
環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会を築きます。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">廃棄物の共同処理などに関する取組みの推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">ごみの減量化、資源化の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">ごみの不法投棄・ポイ捨ての防止</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

## 3 施策評価結果

<p>施策25「循環型社会」では、3事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会を築く」ことであり、「ごみの減量化、資源化の推進」では、家庭用生ごみ処理容器等購入費の助成制度の実施などの様々な取組みを行い、市民や事業者などの意識高揚を図った。「ごみの不法投棄・ポイ捨ての防止」では、町内会、市内事業者等の協力を得て、羽村駅・小作駅周辺及び産業祭会場において、ポイ捨て禁止等マナーアップキャンペーンを実施したほか、小作駅東口駅前にコンテナ型の喫煙所を整備し、分煙施策の充実に取り組むなど、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>
---

1.基本項目	作成部署	産業環境部		生活環境課		
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 廃棄物の共同処理などに関する取組みの推進	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	25	循環型社会	管理No.	1	

2.事業の概要

施策の基本方針	環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会を築きます。
事業内容	今後の廃棄物処理施設のあり方について、周辺地域における共同処理、民間活力の導入などを調査・研究し、共同処理などに関する取組みを推進していきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	廃棄物処理施設の共同処理などについて調査・研究	同左	同左	同左
	周辺地域とのごみ分別統一に向けた検討を行い、可燃ごみにおけるごみ分別の統一化を実施 青梅市とのし尿の共同処理に向けての準備	し尿の共同処理の開始(羽村市クリーンセンターの廃止)		

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	48H	1人	24H	1人	24H	1人	24H
主事・主任職	1人	96H	1人	24H	1人	24H	1人	24H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	41,429			
人件費(係長職)	231	116	116	116
人件費(主任・主事職)	303	76	76	76
総事業費(合計)	41,963	192	192	192
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	41,963	192	192	192
財源内訳(合計)	41,963	192	192	192

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

西多摩衛生組合構成市町リサイクル施設の共同処理のあり方を検討するため、各市町の施設の現状について確認を行った。  
 し尿の処理については、平成31年4月1日から青梅市し尿処理施設で福生市、瑞穂町とともに共同処理を開始した。それに伴い4月から6月にかけて羽村市クリーンセンター施設内部の地下水槽、処理機器内部の清掃、施設廃止手続を行い、7月1日付で羽村市クリーンセンターを廃止した。  
 また、8月から9月に実施したリサイクルセンターの機器修繕等の期間を利用して、施設と機器の老朽化等の現状を把握し、次年度以降の整備計画を作成した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	24 H	1人	24 H
主事・主任職	1人	24 H	1人	24 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○廃棄物処理施設の共同処理などについて調査・研究 ○し尿の共同処理の開始(羽村市クリーンセンターの廃止)		○西多摩衛生組合構成市町のリサイクル施設の現状把握 ○し尿の共同処理の開始・羽村市クリーンセンターの廃止

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
<b>妥当性</b> (必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
<b>効率性</b> (手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
<b>有効性</b> (成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会の構築には広域的な廃棄物処理による効率的な処理や民間活力による新たな処理方法等の導入が必要であることから、廃棄物処理施設の共同処理、民間活力の導入等について、引き続き検討する。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

廃棄物処理施設の共同処理、民間活力の導入について調査・研究を継続する。

1.基本項目	作成部署	産業環境部		生活環境課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 ごみの減量化、資源化の推進	平成 29 年	継続	自治事務(市独自)	直営	
01	年				
02	年				
03	年				
04	年				
05	年				
関連課					
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	25	循環型社会	管理No.	2

2.事業の概要

施策の基本方針	環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会を築きます。
事業内容	ごみの減量化・資源化をより一層推進するため、排出抑制や分別の徹底などについて、広報はむらなどを活用し、市民および事業者などの意識高揚を図っていきます。
根拠法令	
条例	羽村市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例
要綱等	羽村市家庭用生ごみ処理器等購入費助成金交付要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	市民および事業者への啓発の強化(年2回)	同左	同左	同左
	広報はむらによる啓発の強化(通年)	同左	同左	同左
	生ごみ堆肥化講習会 年2回	同左	同左	同左
	生ごみ処理容器等購入費の助成	同左	同左	同左
	資源リサイクルマニュアルの改定に向けた検討	同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	同左	資源リサイクルマニュアルの改定
ごみ減量に関する調査・研究	同左	同左	同左	
		分別収集計画の策定		

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	120 H	1人	152 H	1人	132 H	1人	126 H
主事・主任職	1人	240 H	1人	252 H	1人	252 H	1人	246 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	50	104	-	104
人件費(係長職)	577	731	635	606
人件費(主任・主事職)	758	796	796	777
総事業費(合計)	1,385	1,631	1,431	1,487
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	1,385	1,631	1,431	1,487
財源内訳(合計)	1,385	1,631	1,431	1,487

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

毎号の広報はむらにてごみに関する記事を掲載し、市民にごみ分別の啓発活動を行った。また、生ごみ堆肥化講習会(年3回)や家庭用生ごみ処理容器等購入費の助成制度によりごみ減量の啓発活動を行った。更に大規模事業所への立入検査(24事業所)や西多摩衛生組合において事業系ごみの搬入に係る抜き打ち検査(年1回)を実施し、事業者への分別・ごみ減量の啓発活動を行い、市民や事業者などの意識高揚を図った。  
なお、資源リサイクルマニュアルの改訂については、検討を行い改定時期を令和3年度以降とした。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	104	-	104	89	86.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	152 H	1人	152 H
主事・主任職	1人	252 H	1人	252 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○市民および事業者への啓発の強化(年2回) ○広報はむらによる啓発の強化(通年) ○生ごみ堆肥化講習会 年2回 ○生ごみ処理容器等購入費の助成 ○資源リサイクルマニュアルの改定に向けた検討 ○ごみ減量に関する調査・研究 ○分別収集計画の策定		○市民および事業者への啓発の強化 年3回 ○毎号の広報はむらにてごみに関する記事を掲載 ○生ごみ堆肥化講習会の実施 年3回 ○家庭用生ごみ処理容器等購入費の助成(助成件数9件、40,500円) ○資源リサイクルマニュアルの改定に向けた検討 ○燃やせるごみの組成分析調査の実施 年1回 ○分別収集計画の策定 6月

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
<b>妥当性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
<b>効率性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
<b>有効性</b> <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

基本方針である、環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会を構築するため、ごみの減量化・資源化に関する様々な取り組みを行い、家庭系の可燃ごみについては減量が図れたが、事業系可燃ごみを含む、ごみ総量は増加したことから、今後ごみの減量化・資源化に向けて、様々な取り組みを継続する。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

今後ごみ減量化・資源化を推進するため、排出抑制や分別の徹底を広報はむらなどを引き続き活用し、更に事業系ごみの減量に向けて、事業系ごみの搬入に係る抜き打ち検査回数を増やし、市民や事業者などの意識高揚を引き続き図る。

1.基本項目	作成部署	産業環境部		生活環境課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 ごみの不法投棄・ポイ捨ての防止		年	自治事務(市独自)		
01 吸い殻入れ清掃委託	不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)
02 ポイ捨て禁止等キャンペーン	平成 24 年		継続	自治事務(市独自)	直営
03 指定喫煙場所整備	令和 元 年		その他	自治事務(市独自)	その他
04		年			
05		年			
関連課					
基本目標4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	25 循環型社会	管理No.	3

2.事業の概要

施策の基本方針	環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会を築きます。
事業内容	ごみの不法投棄・ポイ捨て防止に関するキャンペーンやパトロールなどを市民や事業者と協働して実施するとともに、広報はむらなどを活用した啓発活動の継続によるモラルの向上に努めることで、ごみの不法投棄・ポイ捨て防止対策の強化に取り組みます。
根拠法令	健康増進法
条例	羽村市ポイ捨て及び飼い犬のふんの放置の禁止並びに路上喫煙の制限に関する条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	ポイ捨て禁止等マナーアップキャンペーン 2回	同左	同左	同左
	禁止地区内や多摩川周辺のパトロール(新たな手法の検討)	同左	同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	同左 (新たな手法の導入)
	禁止地区内灰皿清掃週2回	同左	同左	同左
	駅周辺の吸い殻等のごみ現況調査 1回	同左	同左	同左
	指定喫煙場所の見直し・整備 1か所			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	120 H	1人	150 H	1人	120 H	1人	120 H
主事・主任職	2人	180 H	2人	180 H	2人	180 H	2人	180 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	458	10,358	736	-
人件費(係長職)	577	721	577	577
人件費(主任・主事職)	1,136	1,136	1,136	1,136
総事業費(合計)	2,171	12,215	2,449	1,713
国庫支出金				
都支出金		8,500		
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	2,171	3,715	2,449	1,713
財源内訳(合計)	2,171	12,215	2,449	1,713

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 220 円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

町内会、市内事業者等の協力を得て、羽村駅・小作駅周辺及び産業祭会場において、ポイ捨て禁止等マナーアップキャンペーンの実施しおよび、青梅線沿線5市により、各駅前において一斉でマナーアップキャンペーンを実施した。  
また、小作駅東口駅前にコンテナ型の喫煙所を整備した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	10,358	-	10,358	10,178	98.3%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	150 H	2人	120 H
主事・主任職	2人	360 H	2人	150 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○ポイ捨て禁止等マナーアップキャンペーン 2回 ○禁止区域内等のパトロール 随時実施 ○指定喫煙場所の灰皿清掃 週2回 ○駅周辺の吸殻等のごみ現況調査 1回 ○指定喫煙場所の見直し・整備 1か所	○ポイ捨て禁止等マナーアップキャンペーン 3回 ○禁止区域内等のパトロール 随時実施 ○指定喫煙場所の灰皿清掃 週2回 ○駅周辺の吸殻等のごみ現況調査 1回 ○指定喫煙場所の整備 1か所(小作駅東口)

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

環境にやさしい低炭素社会・資源循環型社会を築くため、ポイ捨て禁止等マナーアップキャンペーンやパトロールの実施等の啓発活動を実施することで、モラルの向上に努めた。また、コンテナ型の喫煙所の整備により、分煙施策の充実を図ることができた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

ポイ捨て防止及び分煙施策の一層の充実を図るため、羽村駅東口及び西口、小作駅西口の指定喫煙場所について、順次整備を進める。